
物語を語り継ぐ者

氷連

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

物語を語り継ぐ者

【Nコード】

N9328Z

【作者名】

氷連

【あらすじ】

いきなりQ&Amp;A

Q . 魔王が出てきて勇者が主役の物語？

A . いいえ、魔王とか勇者は脇役です

魔王・勇者「「脇役!?!?!」

主人公は無口な精霊と能天気な悪魔のコンビです。

電「能天気って・・・」

主にギャグが3割1割はシリアスです。後の6割は非常識の構成予定です！

- ・主人公は勇者たる！
- ・チートとか無理
- ・ぐだぐだなのは無理
- ・まず、管理人が嫌い
- ・主人公無双が嫌い

以上の事に当てはまる方は速攻ブラウザバッグを推奨致します

仕方がない、見てやるよ！という方はどうぞご自由にご覧下さい。

くプロローグく いつも通りの二人組

『緑が溢れる世界』『テミル』平和だった世界が今混沌に陥れられようとしている。

魔王が現れたのだ

帝国は異世界から勇者を呼び魔王退治に行かせた勇者が見事魔王を封印し世界は平和を取り戻した』

「んでー今、その封印された魔王が復活したと……」

「まあ、そう言うことらしいな……」

「へえそれはまた面白そうで」

「いや、面白くないから……」

あ、言い忘れてたわ

俺の名前は 電ヒメウ

職業は『情報屋』まあ、これは表向きだがな。本職？本職は、『物語を語り継ぐ者』だな。

まあ、意味はそのままだな

種族は一応これでも悪魔な

悪魔と言っても魔王なんかとは面識もねえがな

因みにこの世界には『人間』の他にも『エルフ』『ドワーフ』『精
霊』

『天使』『悪魔』と色々いるんだよ

まあ、悪魔はあまり好かれて居ないが・・・

「んで、どうすんの？」

「何がだ？」

「守護精霊としては動かないのかと思ってな」

「闇の守護精霊はあまり好かれていないからな・・・よほどのこと
がない限り仕事は回ってこないとは思う」

「んじゃ、今回も平和そうだな」

「まあ、そうあってほしいが・・・」

あ、コイツは紅連くれん

さっき言った通り闇の守護精霊な

あまり好かれてる・・・とは言えないな、皆光の守護精霊を正義と
思ってるから此方は悪って思われてんだよな

性格は最悪だがな

俺としてはあのウザイヤつよりも紅連の方がましだと思うが

まあ、あんまり紅連の名前は知られて無いから良いけどな・・・

表向きは俺と同じ情報屋だから、一応コンビ・・・なのか？

まあ、コンビだと思っておこうか

「んー、それにしても暇だな」

「仕事はあまり来ないからな」

「あー・・・俺、散歩してくるわー」

「オレも行く」

「お、珍しい」

「たまには外に出ないとな」

「ごもつともです」

「んじゃ、行きますか」

さて、散歩で何か面白いことがあるかな？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9328z/>

物語を語り継ぐ者

2011年12月29日02時50分発行